

教育行政執行方針 (要旨)



登別市教育長 武田 博

グローバル化や情報通信技術の飛躍的な進展により、社会が急激な変化を遂げる中、子どもたち一人ひとりに、志高く未来をつくり出していくために必要な資質・能力を育む教育が、ますます重要となってきました。

こうした中、国においては平成28年度中に、新しい時代に柔軟に対応できる人材の育成を理念とした学習指導要領の告示を行うこととしてい

ます。

教育委員会としましては、これらの動向や当市のこれまでの取り組みの成果と課題を踏まえ、先見性のある教育施策を展開するとともに、市民一人ひとりが生涯を通じて積極的に学び、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現に努めます。

○学校教育

『地域とともにある学校づくり』

を目指し、コミュニティ・スクールを導入して4年目を迎えますが、これまで学校においては、地域のさまざまな意見を反映した学習活動や土曜授業などが実践されるとともに、その活動を広く地域に発信し、地域と一体となった学校運営が推進されています。

今後も、地域の教育資源を生かした世代間交流や郷土学習の充実、教育フォーラムの開催などを通して、地域と協働で子どもたちを育む活動に取り組んでいきます。

○確かな学力の向上

全国学力・学習状況調査の結果、当市の児童生徒には、活用する力の不足や家庭での学習時間が不十分な状況が課題としてありますので、登別市教育課程課題検討委員会において、各学校や市全体の分析結果を踏まえた指導方法の工夫改善や学習習慣の定着を図るとともに、学習ポータルティアの協力をいただいで実施している放課後学習教室などを通して、基礎的な学習内容の定着と、学ぶ意

欲の向上に努めます。

英語教育については、コミュニケーション能力の育成や異文化への理解を深めるため、引き続きJETプログラムによる外国人英語指導助手を活用し、小学校低学年から中学校まで一貫した取り組みを進めていきます。

また、外国人英語指導助手の生活面のサポートや、学校における連絡調整などを行うJETプログラムコーディネーターを増員し、充実した指導が進められるよう支援していきます。



▲英語指導のほか、各種講演会などでも活躍する外国人英語指導助手

○読書活動の推進

学校図書館への司書の配置により、貸し出し冊数が増加するなど大きな成果を上げていますので、引き続き学校図書館の充実に努め、児童生徒が意欲的に読書活動に取り組むことができるよう促していきます。